人穴小 学校だより

ふれあい

令和３年４月１６日
富士宮市立人穴小学校
第１号

ＴＥＬ５２－００４０

ホームページ　http://www.fujinomiya-shizuoka.ed.jp/e-hitoana/

学校教育目標『自らをきたえ　共に生きる子』

「関わり合いの中で、共に伸びゆく学校」に…

柏木　武文

４月６日、20名の子供たちと８名の教職員がそろって、新年度がスタートしました。雄大な富士山に抱かれ、自然豊かな人穴小学校で、今年も子供たちの笑顔と共に過ごすことができることを心からうれしく思います。今年度も全職員が一つになり、子供に寄り添いながら、学校教育目標の達成に努めてまいります。

西富士中学校区教育目標	志を持って　未来を拓く人
学校教育目標	自らをきたえ　共に生きる子
重点目標	自ら学ぶ子　自ら関わる子　共に育む子

今年度は、重点目標を子供たちに分かりやすい言葉に改め、常に意識しやすい合い言葉のような形にしました。始業式では、今年度のがんばってほしい３つのこととして以下のように話をしました。

> 今年度、みなさんにがんばってほしいことは、「自ら学ぶ」「自ら関わる」「共に育む」の３つです。
> １つ目の、「自ら学ぶ」ことは、自分を成長させることで、それは自分を大切にすることです。みなさんは一人一人違っていますが、それぞれ素晴らしい力をもっています。自信をもっていろいろなことに挑戦して、さらに自分を磨いてほしいです。２つ目の「自ら関わる」は、いろいろな人と進んで関わりをもっていこうということです。いろいろな人と関わり合う中で、友達や周りの人を大切にする気持ちを育ててください。３つ目の「共に育む」は、みんながお互いに成長していこう、そのために力を合わせたり、助け合ったりしていこうということです。
> これが、今年、みんなにがんばってほしい３つのことです。私たち職員も皆さんのことをしっかりと支えられるように、気持ちを引き締めていきます。ですから、みなさんもめあてに向かってがんばり、素敵な１年にしましょう。

目を輝かせて話を聞く子供たちの姿が心に残りました。今年度も、全職員が一つになり、子供に寄り添いながら、目標の達成に努めてまいります。そのために学習や生活の環境を整え、子供の意欲や自主的な活動を支えることを大切にします。また、学校と家庭・地域の皆様との連携・協働を一層大切にして教育活動を進めてまいりますので、今後とも皆様の御協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

「新しい生活様式」を「日常の生活様式」へ

新型コロナウイルス感染症については、クラスターの発生や変異株の確認など、安心できない状況が続いています。学校においては、基本的な感染症対策を行いながら、新しい生活様式が日常のものとなるよう継続的な取組を行い、子供たちの安全に向け努力していきます。以下の３点を取組の具体として考えています。

□３密回避、換気、マスク着用、手洗い・うがい、必要に応じた消毒など基本的な感染症対策に継続して取り組みます。
□学校行事や体験的な活動の感染リスクを減らす実施方法を検討し、少人数のよさを生かした取組を可能な限り行います。
□感染者に対する差別、偏見、いじめ、誹謗中傷などが起きないよう、子供たちの心を育てる取組を、教科授業や特別活動、学校行事などを通して行います。
※学校における感染症リスクを下げるため、また子供たちの健康管理意識を育むために、健康観察アプリ（リーバー）を利用した日々の健康状態の把握が重要です。御協力、よろしくお願いいたします。